

No	質問・意見	資料	内容	回答	課（室）
1	質問	資料 1	おそらく、より安定した財政支援を受けるために、「新制度未移行幼稚園」から「特定教育・保育施設」に移行するのだと推測されるが、移行の背景を詳しくご説明頂きたい。これまでの私学助成から市の財政支援に移管することで、自治体との連携が密になる一方で、事務処理の負担増や市の指導／監査等の縛りも出てくると思うが、それでも移行に踏み切る理由は？	花咲幼稚園に確認したところ、以下のとおり回答をいただいた。 私立幼稚園の私学助成から施設型給付への切り替えは年々増加しており、園の方針や幼稚園業界全体の流れからも、今後さらに施設型給付への移行が進んでいくことが見込まれる。現在、認定こども園騎西桜が丘、鷲宮桜が丘保育園ではすでに施設型給付での運営を行っている。花咲幼稚園についても施設型給付へ移行し、3園全てが同じ制度になることで、事務処理や運営上の手続きを統一でき、事務負担の軽減や業務の効率化、さらにはコスト削減も期待できる。 また、花咲幼稚園と騎西桜が丘幼稚園は同じ法人内の幼稚園でありながら、これまで財政支援の仕組みが異なっていた。3園すべてを施設型給付とすることで、この制度上の違いも解消され、同じ法人内でより統一した運営・財務管理及び組織の制度設計（給与規程等）が可能になると考えられる。	こども保育課
2	質問	資料 1	「特定教育・保育施設」に移行することで、園の裁量が相対的に縮小すると思われるが、一方で地域の子育て支援拠点としてはその機能を強化することができると思う。どんな機能強化をめざしているかご説明頂きたい。	花咲幼稚園に確認したところ、以下のとおり回答をいただいた。 加須市との連携をより一層深めることで、地域における子育て支援拠点としての機能強化と、さらなる充実が期待できる。	こども保育課
3	質問	資料 1	市立幼稚園の休園・統廃合等が進むなか、今回の花咲幼稚園の「特定教育・保育施設」移行は、他の市立幼稚園の運営にどのような影響をもたらすと思われるか。	新制度に移行しても、花咲幼稚園の保育内容に変更は生じないため、市立幼稚園の運営に影響をもたらすことは想定されない。	こども保育課
4	質問	資料2-3	保育提供体制確保のための「保育士宿舍借り上げ支援事業」について「・・・保育士の確保に取り組む民間保育施設を支援する。」とあるが、財政支援の対象は市内私立保育園のみということか。（市内公立保育所は保育士の確保に問題ないということか）。また、市内保育園／保育所の定員充足率は現状どの程度なのか。	「保育士宿舍借り上げ支援事業」の対象は民間保育施設のみである。 公立保育所の保育士の確保も課題であるが、本計画の採択により財政支援を受けることができる当該事業の補助対象は民間保育施設のみとなっている。 加須市内の保育所における利用定員に対する充足率は88%である（R8.8月時点）。	こども保育課
5	質問	資料2-3	本事業の採択期間と補助額、国庫補助率は？	本計画の採択の期間は1年度間であるため、「保育士宿舍借り上げ支援事業」についても1年度間である。 なお、毎年度採択を受けることにより、補助制度が続く限り来年度以降も財政支援を受けることは可能である。 補助額は月額上限53,000円に対し、補助割合は国1/2、市1/4であり、事業者負担が残りの1/4である。	こども保育課
6	質問	資料2-3	保育士の住居に関する不安を払拭するための事業ということだが、保育士確保の大きなネックが住居問題ということなのか（保育士の住居ニーズが高いという分析か）。借り上げた場合、保育士の家賃負担はどの程度を見込んでいるのか。	保育士不足の要因は様々であり、住宅に関するものもその一つであると捉えているが、それだけで全てが解決するとは考えていない。 当該事業を利用した場合、家賃負担については、月額上限を超えた部分は事業者負担になるため、保育士の家賃負担はないものと考えている。	こども保育課

No	質問・意見	資料	内容	回答	課（室）
7	質問	資料3	「指標を設定している取組」と「指標を設定しない取組」とで分けて評価している理由は何か（指標を設けていない取組が圧倒的に多いので）。	基本目標ごとに、計画の進捗管理を行うため、令和5年度から令和11年度までの目標値を設定し、この数値により各目標の達成状況を管理している。 また、各目標における各課の取り組みについて、数値で管理できるものは数値目標を掲げる一方、数値化が難しいものについては具体的な取組内容を目標とし、その実施状況を確認することとしている。	子育て支援課
8	質問	資料3	取組状況（方向性）の「実施」と「継続（改善）」「調査・検討」はどのような違いがあるのか。	P D C A サイクルに則り、「調査・検討」から始まり、方向性が固まると「実施」へ移行。実施した取組が翌年度以降も定着すると「継続（改善）」となります。取組に見直しの必要性が生じた場合、再び「調査・検討」を実施する。	子育て支援課
9	質問	資料3	指標に対する成果がB（80%以上）と素晴らしいが、「やや遅れている」「大幅に遅れている」の16.7%のうち、自助努力での改善が困難なものはあるのか。	指標に対する成果のうち、「やや遅れている」は3項目（こども・若者（29歳以下）のこころの健康相談利用率、就業支援セミナー等参加による就業者数、人口1,000人あたりの刑法犯認知件数）である。 このうち、前者の2項目については、担当の部署に確認したところ周知を実施しているところだが、利用率や参加人数・就業へと結びつく数の向上に苦慮しているとのことであった。 また、人口1,000人あたりの刑法犯認知件数は増加しているが、防犯のまちづくりは、市、市民、事業者、土地建物所有者及び関係機関・団体が連携・協力しながら推進していくものであることから、刑法犯認知件数が減少となるよう、引き続き、加須市みなでつくる防犯のまちづくり推進計画に基づく取組を実施していく。	子育て支援課
10	意見	資料3	資料3-2の報告書データを読み解くのに、資料3-1同様、「担当課」の記載があったほうが適切だと思う。	資料3-2の計画進捗管理についての様式は、政策調整課が各課に通知した部門計画の管理様式に基づいて作成している。計画の取組は、他課に関係する場合もあり、市として対応するものであるため基本的には課名の記載はしない方針としている。	子育て支援課
11	意見	資料3	令和7年度の実績欄の書き方～計画に記載されている内容をそのまま過去形にしたものも少なくなく、実績として具体的な数字のあるものもないものが混在している。評価の根拠として、ある程度の客観データは必要。報告書としての精度をもう少し高めてほしい。	ご指摘のとおり、報告書の精度を高めるためには、客観的なデータや数値に基づく検証が不可欠であると認識しております。本計画では、数値化できるものは数値目標を掲げ、難しいものは具体的な取組の実施状況を確認することとしているが、今後は、数値化が可能な取り組みについて改めて各課の状況を精査・徹底させる。	子育て支援課
12	質問	資料3	9/1が18歳以下の自殺が多いといわれているなか、9/10からはじまる自殺予防週間以前の夏休みからの啓発活動はあるのでしょうか。	8月末頃に通知される厚生労働省からの広報資材を活用し、自殺対策の周知を行っている。また、市ホームページでは、通年を通して啓発活動を行っている。	いきいき健康医療課
13	意見	資料3	自転車に対する指導は、4年生だけでなく、1年生から中学、高校生にも毎年やって、交通ルールを伝えて欲しいところです	小学校4年生や中学校1年生といった、行動範囲の拡大や自転車を利用する機会の増加による成長の節目にあわせて、自転車運転免許事業や交通安全教室等を学校の教育活動を通じて実施している。 また、その他の学年については、各学校において警察署等の関係機関に協力を依頼しながら、それぞれの実情に応じた教室などを開催している。	交通防犯課
14	質問	資料3	フードドライブは、どんなものがどのくらい集まり、どのような形で誰に配布されているのでしょうか。	主にお米・乾麺・レトルト食品・調味料・水等が、奇数月に1回1,000点～1,500点、令和6年度は年間で9,562点の寄贈があった。ご寄贈いただいた食品等は、市から加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会宛てにお渡しし、各団体利用者の方へ配布される。	子育て支援課
15	意見	資料3	学習支援の場は、生活保護などだけでなく、希望者が参加できる方がいいのではないかと思います。	本事業は、経済的な課題を抱える世帯の子どもを重点的に支えるセーフティネットとして実施している。御提案の対象拡大の重要性は十分に認識していますが、現状におきましては支援の必要性が特に高い世帯への対応を最優先とさせていただいている。	生活福祉課

No	質問・意見	資料	内容	回答	課（室）
16	質問	資料3	公園や赤ちゃんの駅について、利用者のニーズが今ある公園などの整備だけなのか、本当に何を求めているのか、確かめる必要があるのではないのでしょうか。今子どもたちや親子がどこにいるのか、子どもたちが放課後集まっているところを实际見て回ったことはあるのでしょうか。	公園整備のニーズは、毎年実施している「公園利用者アンケート調査」、今年度策定する「加須市公園整備計画」及び「加須駅南口公園（仮称）基本構想」のアンケート調査により把握する予定。また、公園利用状況につきましては公園点検時や維持管理作業の確認時等に併せて確認を行っている。	道路公園課
17	質問	資料3	子どもにわかりやすい、子ども用のホームページが作れないでしょうか。また、子育て情報がわかりやすい子育てホームページはあるのでしょうか。	加須市ホームページ「分野から探す」子育て・教育から子育てのページへのリンクがある。子ども用に特化したホームページについては、今後調査・研究していきたい。	子育て支援課
18	質問	資料3	待機児童ゼロと言っていますが実際の現場のお母さんがたの声とか、離れている気がするのはどうしてでしょうか。	待機児童ゼロとは、毎年国が市町村に対して実施する保育所等利用待機児童数調査における待機児童数を言います。国が示すこの調査の要領では、特定の保育所を希望する方や、育児休業中の方などは待機児童の数から除くことになっており、このような理由の場合は待機児童数としては表れず、調査上は入所保留児童として整理しています。実際に入所申し込みをする際には通いたい園を選んで申し込みをしていただくことがほとんどであり、希望の園が定員に空きがなく入所できないという場合は保留児童と整理しているため、待機児童はゼロであっても入所がかなわないという状況がある。	こども保育課
19	質問	資料3	「こども誰でも通園制度」がスタートして、4月からの状況等教えていただきたいと思います（保育士増員の対策に期待しています）。	加須市では、公立1カ所で実施し、令和8年4月から受入れを開始した。 4月から7月までの利用実績は、市外の施設を利用された方も含めて、25人の利用だった。	こども保育課
			※ 目標12（1）コ		
20	意見	資料3	子育てサークルを対象に双方向ブッシュ型の講座や、短時間のアドバイスのお話等の機会を増やしていただけるとありがたい。忙しい保健師の方にお願ひできるのであれば。	ご要望があればご相談ください。	すくすく子育て相談室
			※ 目標12（2）		
21	意見	資料3	事故からこどもを守る環境整備について。信号の無い場所での横断歩道が消えているところが多くみかけます。塗り直しをした方がよいと思います。	横断歩道は、道路交通法に基づき、埼玉県公安委員会が管理・設置するものです。 横断歩道の補修に関しましては、具体的な場所をお知らせいただけましたら、早急に対応できるように加須警察署に対して要望を行う。 なお、本市では日頃の点検として、職員によるパトロールを実施しているほか、市民の皆さまから危険箇所や損傷などをご提供いただく、「道路ウォッチャー事業」を実施し、官民共同で交通安全を推進している。	交通防犯課
22	質問	資料3	済生会加須病院の産婦人科開設を含め、市内での産婦人科新設に向けた現状について伺います。	市内での産婦人科開設には至っておらず、済生会加須病院には引き続き要望を行っている。	いきいき健康医療課
23	意見・質問	資料4	「こどもまんなか」のまちづくりをめざすうえでとても素晴らしい企画だと思う。小・中・高・大ごとのグループワークということだが、どのようなファシリテーションを予定しているのか。	グループワークでは、小・中・高・大それぞれの年代に応じたテーブルに職員が1名ずつ同席する。テーブルでは、テーマの分かりやすい説明や、参加者の主体的な意見を引き出す工夫のほか、役割分担のサポートや時間管理を行い、こどもたちが安心して自分たちの意見を発言できるよう、自主的な参加をサポートする。	子育て支援課

No	質問・意見	資料	内容	回答	課(室)
24	意見・質問	資料4	(いきなりグループワークには入らないかと思うが) グループワーク前のセッションは何を予定しているのか。	まずは参加者の緊張をほぐすためのアイスブレイク、グループワークの前提となる加須市の基礎知識や現状について、分かりやすい資料を用いて簡単に共有するセッションを予定している。	子育て支援課
25	意見・質問	資料4	こどもたちのプレゼン力(伝える力)にも期待したい(模造紙、付箋、PPTスライド、動画、口頭、ロールプレイ等、各グループが伝えたい内容に応じた発表形式をとれるようサポートをお願いしたい)。	本会議はこども達の意見を聴く場とともに、こどもたちが普段話さない人と会話したり発表したりする成長の機会にもなると思う。こどもたちの自主性を大事にし、有意義な時間となるようしっかりサポートしたい。	子育て支援課
26	質問	資料4	子どもの意見を聞くのはいいことですが、意見をいえる子、言った子、手を上げた子、選ばれた子だけではない意見は、どこからどのように集めますか。	今回、ホームページや市の広報誌に掲載し募集している。実施を継続するなかで、改善を重ねていき幅広いこどもからの意見聴取が実現できるよう努める。	子育て支援課
27	意見	資料4	こども・若者まんなかかぞ会議は評価できる取組なので、小学生～大学生等の幅広い層の参加により意見を集約し、市政に反映していただきたい。	広く募集をかけ、幅広い層のこどもの意見を聴取できるよう努めていきたい。	子育て支援課
28	質問	資料5	法定健診ではない5歳児健診の事業費として、国や県からどの程度の財政支援を受けているのか(総事業費における国、県、市の負担割合)。	国庫負担2分の1、市の負担2分の1。	すくすく子育て相談室
29	質問	資料5	健診後カンファレンスはどのように行われているのか(事後カンファレンスの実施方法)。医師は参加しているのか。	健診に従事したスタッフ間で、こどもや保護者に関する健康課題を整理・共有し、支援の必要性やフォロー方法を話し合う。医師は参加していない。	すくすく子育て相談室
30	質問	資料5	5歳児健診の検査結果は受診者にどのようなかたちで伝えられるのか。	身長・体重などの身体計測や、医師による診察、保健師等による問診・行動観察の結果は、当日の会場での個別面談という形で保護者に直接伝えられる。	すくすく子育て相談室
31	質問	資料5	5歳児健診は事後のフォローアップが特に重要だが、フォローアップに携わる専門医療機関は市内にどの程度あるのか? 医師や専門職によるフォローアップ体制の詳細をご説明頂きたい。早期支援につないだ実績として、フォローアップ率(受診者のうちフォローアップを要する子の割合)も。	専門医療機関は、済生会加須病院の発達相談外来の1か所。 5～7月に実施した中で、医療機関に紹介したケース(要精密検査者)は0件。 要観察となったケースは4割程度。(それ以外は異常なし・既医療・既療育) 市の発達支援事業として、こども発達相談事業(心理士、言語聴覚士、作業療法士による個別相談)やことばの相談事業(言語聴覚士による継続的な個別相談)がある。こども発達相談はR8年度に事業を拡充し、心理士の相談日を月1→月2回へ増やし、言語聴覚士と作業療法士の相談を新規で開始した。	すくすく子育て相談室
32	質問	資料5	支援が届きにくい家庭(外国籍のお子さんも含め)へのアウトリーチで課題はないか。在籍する保育所や幼稚園等での周知/案内はどのようにされているのか。	外国籍の家庭は、言語の問題もあり、発達に関する全員アンケートの回答が難しい可能性がある。回答がなく、保育園や幼稚園にも在籍していないケースは訪問や電話でのアプローチをしている。 保育園や幼稚園に在籍しているケースは、必要に応じて園に状況確認する場合もある。 また市内保育園へ5歳児健診についてのちらしを配布し、保護者会等で保護者へ周知していただいた。	すくすく子育て相談室
33	質問	資料5	5歳児健診の検査結果及びフォローアップ記録は、就学時健診にどう反映されるのか。5歳児健診の検査結果は、幼稚園・保育所・学校等とも情報共有されるのか。	就学児健診には反映されない。 健診結果は必要に応じて、保護者の同意や希望をお聞きし、幼稚園・保育園等と共有し、連携して支援・相談を行う。 また5歳児健診に学校教育課指導主事が従事しており、希望者には就学についての個別相談を実施している。	すくすく子育て相談室

No	質問・意見	資料	内容	回答	課（室）
34	質問	資料5	全員アンケートの回答率は？ 全員アンケートの結果から、「受診しない」を選択した方のうち、すくすく子育て相談室から連絡した家庭及びすでに医療や療育につながっている家庭は、それぞれの程度いたのか。	5～7月実施分において、全員アンケートの回収率は71.1%（健診当日までに回答した人）。「受診しない」と回答した方のうち、発達相談事業の案内を送付したり個別フォローをした人は24.5%。「受診しない」と回答した方のうち、すでに療育（発達支援事業等）を利用している人は6%。	すくすく子育て相談室
35	質問	資料5	5歳児検診について、対象者として受信希望とあるのに、受診率が低いのはどうしてでしょうか。今後受診率をあげていくための策はあるのでしょうか。全員アンケートにおいて、アンケート結果で、お子さんの様子が受診した方がいいと思われるのに、受信希望を出していない人はいるのでしょうか。もしいるとしたら、本当に受診が必要なお子さんに対しての受診率はもっと低くなるのでしょうか。保護者が受診の問題がないと思っていても、役所から受けたほうがいいと連絡することはあるのですか。幼稚園や保育園が受診したほうがいいと思うお子さんについての連絡はあるのですか。	5歳児健診は全員に受診していただく“悉皆健診”ではなく、希望制で実施しているため、受診率は22～31%であり、他の健診に比べて低い状況。また受診全員アンケートで「難しい」「苦手」等と回答した方の中にも受診希望がない方がいる。保護者が問題ないと思っている場合は、支援や介入が難しいが、保護者とかかわりを切らさないようにし、保育園や幼稚園とも巡回相談等で連携を取りながら、介入のタイミングをはかって発達相談や就学相談、受診等につなげている。5歳児健診の案内通知の中に、「幼稚園や保育園は、普段のお子さんの様子をよく知っています。園にご相談のうえ、5歳児健診の受診をすすめられましたら、ぜひ受診してください」の一文を入れている。また園からも必要な児を受診につなげていただいております。「園から勧められて受診した」と言う保護者もいる。	すくすく子育て相談室
36	意見	資料5	アンケートに、受診したらどんなことが待っているのか、かいてあるほうが保護者が安心できるのではないかと思います。	必要な方が受診していただけるよう、今後も周知・案内方法を工夫をしていきたい。	すくすく子育て相談室